

特定術式における術前1時間以内の予防抗菌薬投与率

指標の説明と定義

手術部位感染を予防する対策の1つとして、手術前後の抗菌薬投与があり、手術開始から終了2～3時間まで、血中および組織中の抗菌薬濃度を適切に保つことで、手術部位感染を予防できる可能性が高くなります。

このため、術前1時間以内に適切な抗菌薬を静脈内注射することで、手術部位感染の予防に繋がります。

分子 手術開始前1時間以内に予防抗菌薬が投与開始された手術件数

分母 手術件数(冠動脈バイパス手術、その他の心臓手術、股関節人工骨頭置換術、膝関節置換術、大腸手術、子宮全摘除術、肺切除、耳鼻科領域手術、泌尿器科領域手術、歯科口腔領域手術)

指標の種類

プロセス

グラフ

